９月１８日（水）に開催された、泉区歯科医師会と福祉保健センターとの連絡会に関する、協議内容取り纏め。

【泉区地域福祉保健推進協議会に関して】

年２回開催される。

過去に第３期まで策定が済んでおり、現在第４期策定中。

第4期泉区地域福祉保健計画策定・推進検討会（第1回）は令和元年7月３日に開催されており、泉区歯科医師会は、令和元年9月２５日開催（第2回）から参加する。

【泉区災害医療連絡会議に関して】

昨年より年２回開催になった。

昨年まで５区合同で開催されていた「のぼり旗訓練」が６区合同になる。

歯科医師会より、市民が関心を持ちやすい９月１日や３月１１日に開催することを提案。

【歯周病予防教室】

講師の選定について。

・開催場所に近くの先生も考慮する。

・必ずしも木曜日に開催できる訳ではない。

・歯科医師会からは、木曜日以外の派遣要請の事前連絡は３か月前にはお願いしたい旨を伝える。

【泉区多職種連携会議】

歯科医師会の先生方も今まで通り積極的な発言、交流を期待される。

【乳幼児健診審査事業】

・齲蝕罹患率：１歳６か月児で1.36%。１８区中、下から５番目。

　　　　　　　３歳児で11.41%。１８区中、下から４番目。

泉区も改善しているが、他区がもっと改善しているため成績が芳しくない。

・乳幼児歯科検診時において、保護者の方に不用意な発言をした会員がいた。

【要保護児童対策地域協議会泉区実務者会議】

歯科では個人診療所ということもあり、児童虐待の通報は患者との信頼関係からも難しいが、横浜市歯科医師会では行政と連携してこの問題について取り組んでいる。１歳６か月児健診や、３歳児健診の際に、多数歯齲蝕や歯の破折などを認めたときには、(虐待とは限らないので)慎重に理由を保護者に聞きだすことが必要。

【その他】

歯科医師会からの要望だけでなく、行政からも歯科医師会に要望や行ってもらいたい事業があれば、申し出て欲しい。全て可能とは限らないが、なるべく歯科医師会で受けれることは受けて協力していきたい。